

31		<p>中西の桜 中央 見頃 春</p> <p>中央地区中村に咲く、樹齢約800年の江戸彼岸桜。昭和52（1977）年4月1日に村の記念物に指定された。徳川時代には検知の際の天竜川西岸から東の方への見通しとされたと伝えられる。</p> <p>☞ 例年3月末から4月初にかけて開花します。</p>
32		<p>どんど焼き 南原 見頃 冬</p> <p>冠雪のアルプスと青空を背景に天高くやぐらが燃え上がる小正月の代表的風景。「煙をあびると1年中まめでいられる」、「書き初めの習字が燃えて高く舞い上がると字が上手になる」などといわれる。</p> <p>☞ 南原地区では例年1月の第2日曜日にどんど焼きが行われます。</p>
33		<p>東福寺からの眺望 沖町 見頃 春</p> <p>永昌山東福寺は伊那坂東三三番札所のひとつ。明治初年に廃寺となった。春には江戸彼岸や山桜が咲き誇り、沖町・中組地区の街並みと冠雪の中央アルプスが映える。</p> <p>☞ 進入路が狭く、坂道になっていますので、車でお越しになる際は注意してください。</p>
34		<p>南陽会館から望む中央アルプス 南陽 見頃 通年</p> <p>大中洞と大沢洞、鳳来沢の沢筋に耕地と家々が連なる南陽地区。南陽会館集会所からは中央アルプスが一望できる。起伏に富んだ山並みが美しい。地区住民の癒やしの景色。</p> <p>☞ 会館前に広い駐車場があります。</p>
35		<p>共同墓地の石仏群 田島 見頃 通年</p> <p>高遠の名石工守屋貞治が200年ほど前に彫った2体の地藏菩薩像が立ち並び、風情あふれる田島地区新井の風景。墓地の奥には元禄時代に彫られた田島地区で最古の石碑が立つ。</p> <p>☞ 田島地区集会所から南東側に30mほど進むと、徒歩で通行できる進入路があります。</p>
36		<p>牧ヶ原から望む中央アルプス 牧ヶ原 見頃 通年</p> <p>南駒ヶ岳、赤棚岳、空木岳の山並みを正面に見据える壮大な眺め。四季を通して刻々と表情を変える中央アルプスが美しい。朝焼け、夕焼けが特にきれい。</p> <p>☞ 中川中学校の信号機付近から北西の方角に見える景色です。</p>
37		<p>石神から望む牧ヶ原 三共 見頃 通年</p> <p>天竜川の洪水と釜淵の女神にまつわる伝説の地から望む牧ヶ原の営みの風景。中央アルプスや蛇行する天竜川も一望できる。公園西にある石神の松は樹齢350年以上ともいわれる。</p> <p>☞ 石神公園内は車での乗り入れも可能です。</p>
38		<p>常泉寺六地藏 三共 見頃 通年</p> <p>500年以上前に開基されたと伝えられる名刹。伊那七福神のひとつ大黒尊天が祀られる。寺の入口には昭和45（1970）年に桑原地区東山から移転建立した2組の六地藏が並ぶ。</p> <p>☞ 付近に案内看板があります。</p>
39		<p>ぶどう園と中央アルプス 田島 見頃 秋</p> <p>一面のぶどう畑と中央アルプスの遠望が美しい景色。かつては荒廃桑園と無作付農地が広がっていたが、平成5（1993）年に団地化が計画され、ぶどうの苗木が植えられた。秋にはぶどう狩り客で賑わう。</p> <p>☞ 10月にはぶどう園でぶどう祭りが開催され、多くの方が訪れます。</p>
40		<p>中田島から望む陣馬形山 中田島 見頃 通年</p> <p>四季や天候、気象条件によってさまざまに表情を変える陣馬形山の雄大な眺め。昔は「陣馬形山に雨が降り出すとここまで雨が降る」と日々の天候の予兆としても使われた。</p> <p>☞ 道幅が狭いのでご注意ください。</p>